

1. 策定の経緯

計画の策定にあたり、市民・関係団体で構成された「新発田市地域公共交通活性化協議会」を開催し、審議・検討を行いました。また、市民から公共交通の利用状況や意見等を聴取するため、アンケート調査を実施するとともに、公共交通の担い手となる交通事業者に対し、ヒアリング調査を実施しました。

計画の内容について、市民から意見を聴取するため、パブリックコメントを実施しました。

表 策定までの審議・検討経過

実施年月日		検討・実施内容
令和4年	12月21日	○令和4年度第2回新発田市地域公共交通活性化協議会 ・計画策定の背景、目的、位置付け、計画区域、計画期間について ・社会状況・公共交通の現状について ・アンケート調査実施方針について
令和5年	1月10日～1月27日	○高校生アンケート調査を実施
	1月13日～1月27日	○住民アンケート調査を実施
	3月28日	○令和4年度第3回新発田市地域公共交通活性化協議会 ・アンケート調査結果報告 ・新発田市地域公共交通網形成計画の評価について ・公共交通の課題整理について ・基本的な方針の設定について ・計画目標の設定について
	6月9日	○タクシー事業者ヒアリングを実施
	6月12日	○バス事業者ヒアリングを実施
	6月26日	○令和5年度第1回新発田市地域公共交通活性化協議会 ・評価指標について ・施策・事業について
	10月25日	○令和5年度第2回新発田市地域公共交通活性化協議会 ・計画素案の確認
	11月10日～11月30日	○パブリックコメントの実施
	12月25日	○新発田市地域公共交通計画案の承認（成案）

2. 用語解説

■ GTFS (P65)

経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的としてアメリカで策定された世界標準の公共交通データフォーマット。GTFS データを整備することにより、経路検索等のサービスがスマートフォン等で利用できるようになる。

■ MaaS (P1、43、66、67)

地域住民や旅行者 1 人 1 人の移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。

■ キスアンドライド (P63)

鉄道を利用する場合、駅まで自家用車で送迎してもらう方法。

■ 自動運転車 (P26)

ドライバーの代わりに自動運転システムが認知や判断、運転操作（アクセル、ブレーキ、ハンドル操作など）を行う車。

■ 定時定路線運行 (P1)

決まった時刻に決まったルートを運行する運行内容のこと。

■ 定路線迂回型運行「新発田版デマンド方式」

(P1、12、15、16、17、33、34、39、41、52、53、58、67)

停留所を結ぶ基本ルートは予約がない場合でも運行し、予約があった場合は、その予約があった停留所まで迂回して運行する運行内容のこと。

■ スローモビリティ (P26)

定員 6 人程度でゆっくり走るゴルフカートのような車。

■ 地域内フィーダー系統 (P48、49、52、57、59)

複数の市町にまたがって走る広域的な路線である地域間幹線系統に対し、支線として接続して運行する路線のこと。

新発田市地域公共交通計画

令和 6 年度 ▶ 令和 10 年度

発行 新発田市市民まちづくり支援課 公共交通推進室
(新発田市地域公共交通活性化協議会)

〒957-8686 新潟県新発田市中心部 3-3-3

TEL 0254-22-3030